



第1156号2023.11.5
連合中越地域協議会
長岡市愛宕3-7-24
TEL 0258-86-0111
FAX 0258-86-0884
発行人 矢島 良彦
http://tyuuetu.net/

定価 1部10円
購読料は会費に含む



農業・食料・環境問題を学ぶ第4回イベント 農園Oasis 畑仕舞い

農業・食料・環境問題を学ぶ第4回イベント「畑仕舞い・サツマイモの収穫と玉ねぎの作付」が、10月28日(土)午前中に信濃川河川敷にある福祉市民体験農園「OASIS R」で行われました。

当日は、雨の予報でしたが開始時には青空も広がる天候で、NPO法人UNEと連合中越地協、フードバンクながおか、支援者など約60人が参加しました。作業開始前に家老NPO法人UNE代表と矢島連合中越地協議長があいさつ。また、UNEでインターンシップを行っている大学生からもあいさつがありました。その後は、各団体の畑



で作業を開始。連合の畑では、まずサツマイモの収穫。子どもたちも移植コテを使って懸命に掘りました。夏の猛暑を耐えて育ったサツマイモはラグビーボールみたいな芋やカボチャの様な芋まで。中にはネズミなどにかじられた芋もありましたが、約40分で200kg以上のサツマイモを掘り上げることができました。その後、玉ねぎの作付作業に。実行委員が指導を務めました。一畝は40m、約30分で2畝に2000本の玉ねぎ



連合中越地域協議会 第11回幹事会開催

連合中越地協第11回幹事会が、10月14日(土)9時30分から地協事務所で開催されました。

最初のあいさつで矢島議長は、10月5日6日に開催された連合本部大会の報告を述べ、これからの連合新潟、地協の総会で「労組の役割を確認し、連合運動を前進させよう」と述べました。

今回の幹事会は、11月22日に開催する中越地協第33回定期総会の議案審議を中心に行いました。また、審議予定事項では、定期総会に向けた準備関係、長岡市市政要望提出の日程確

連合中越政策委員会 推薦市議との懇談会

連合中越地協政策委員会が、10月20日(金)18時30分からニューオータニ長岡で開催されました。今回の政策委員会は、長岡市への次年度予算に向けた要望書提出を前に、連合中越地協推薦の長岡市議会議員の皆さんと意見交換を行うことを目的に開催されました。当日は、推薦市議会議員のうち、松野憲一郎市議会議員は所用により欠席となったため、五十嵐良一市議会議員のみの参加となりましたが、地協四役、政策福祉担当幹事と意見交換を行うことができました。



議長は「ウイルス禍で3年ぶりの開催となった。世の中の変化について行くだけでなく、その先をう、要望していきたい」と述べました。五十嵐市議からは、「長岡市は人口減少対策が重要としていくが、対策だけでなく市の将来展望が開ける市政にしていきたい」等のあいさつがありました。続いて事務局から市政要望の要点の説明があり、五十嵐議員からは「要望にある『子どもの権利条約』については、同僚の議員を中心に子ども条例研究会を立ち上げ議論を始めた」等の報告がありました。その後、懇談会にうつり、様々な意見交換が行われました。

長岡地区労働者福祉協議会第1回役員会 2024ワーク&ライフセミナーなどを論議

10月24日午後1時から長岡地区労協第1回役員会を開催し、ライフサポート事業各会議報告、2024ながおかワーク&ライフセミナーの開催要領について確認しました。矢島会長は「暑い夏からめっきり寒くなってきました。今年は暖冬少雪という声もありますが、寒くならないと困る方もおられる。連合は先の総会を、地域活動の重要性を確認した。連合運動の支えとして労働協運動を担っている自負を持っていきたい。」とあいさつしました。

引き続き、今井事務局から、①ワンミニッツサイレント行動②東部ブロックライフサポート事業経験交流会③第12回ライフサポート実務者研修会について報告。す



に長岡市もAIを導入している、これからはライフサポート事業相談業務にもその導入を図る必要があるなどの報告を受けました。2024ながおかワーク&ライフセミナーについては、来年2月の中旬にかけて開催すること。今年、①発達障害のある方の権利に関する講演、②女性に関する講演、④ひきこもりと農業活動とのコラボ活動、⑤

新潟県ライフサポートセンター
1人で悩まず、気軽にご相談ください
☎(0258)-86-8898 秘密厳守
相談は原則無料 平日:10時~16時
・日常生活全般 ・心の悩み ・人間関係 等
〒940-0036
長岡市愛宕3-7-242F Email nagaoka-lsc@galaxy.ocn.ne.jp

今年の夏は、新潟県でも猛暑日が続く、気温が35度を超える日が何度もありました。私たち勤労者にとって、酷暑は体力や集中力の低下、熱中症や脱水症状などの健康リスクをもたらします。特に、屋外や工場などで働く人たちは、暑さ対策をしっかりと行う必要があります。しかし、暑さに負けず頑張ってきた私たちに、秋の恵みが待っています。食欲の秋と言われるように、秋は美味しいものがたくさんあります。新米や栗、さつまいもや柿など、旬の食材を使った料理は格別です。また、新潟県は日本有数の米どころであり、お米に合うおかずも豊富です。私の楽しみは「ラーメン巡り」です、暑いラーメンがますますおいしい季節となります。▼食欲の秋を楽し

副議長
五十嵐 聡
あたご3
《No.93》

むためには、適度な運動も大切です。運動は、消化や代謝を促進し、食べ過ぎや太りすぎを防ぐ効果があります。また、心身の健康にも良い影響を与えます。ストレスや不安を解消し、気分をリフレッシュすることもできます。▼涼しくなりウォーキングをする機会が増えました、気軽に始められる運動であり、季節の移り変わりや自然の美しさに目を向けることができそうです。例えば歩いていて、ふと金木犀の香りに包まれると、秋の訪れを感じます。そういえば、今年は何年より遅かったような気もしています。▼酷暑から食欲の秋へと移り変わるこの時期に、自分の体調や健康に気を付けながら、仕事や生活を楽しまししょう。

ながおか子ども笑顔プロジェクト

フードバンクながおかでは、ひとり親世帯支援のため、「ながおか子ども笑顔プロジェクト」を行っています。この取り組みは毎月お米5kgと食品等の詰め合わせを支援するものです。このうち食品等の詰め合わせは、毎月ボランティアの皆さんの協力で袋詰め作業を行っています。

支援世帯数は、ひとり親世帯が約160世帯。このうち52世帯は支援団体を通じて配布し、残りの世帯はフードバンクの事務所に直接取りに来られます。事務所での支援品の配布時には、フードパントリー形式で野菜や日用品なども支援しています。

また、生活困窮世帯向けに約20世帯分を確保し、支援団体を通じて配布しています。

連合中越と退職者連合では、毎月の食品の袋詰め作業と支援団体への配達等に協力しています。

フードバンクながおか

センター・倉庫 〒940-2112 長岡市大島本町3-1-57
(旧ナリス跡地 フスリのアオキ様隣)
foodbank.nagaoka@gmail.com
TEL 090-2142-6119
ホームページ http://www17.plala.or.jp/fbnagaoka/



10月5日(木)にアール長岡の市民交流ホールB・Cで、ろうきんシニア倶楽部総会とセミナーが開催されました。当日は88人の参加がありました。

10時半からシニア倶楽部総会を開き、11時よりセミナーのスケジュールが進みました。総会は、冒頭桜井北支部長の挨拶で始まり1年間の活動報告、今後1年間の活動計画・予算・役員体制の承認を満場一致で可決して、その後セミナーを開催しました。今回は今までの講演形式ではなく長岡市のNPO法人「大手寄席」の落語家「三遊亭まさじ」と夫婦漫才「つまようじ」の公演です。

「大手寄席」は、2011年の東北震災の避難者の支援を目的に2012年に設立され、2016年にNPO法人化された組織です。セミナーは、最初に特許詐欺関連のDVDで「点検商法」の手法を学習しました。その中で県外ナンバーの車のセールスマンに注意が必要と言ふことを教わりました。その後、落語・漫才の公演が入りました。落語は「三遊亭まさじ」の「真田小僧」「牛

中越地域退職者連合がろうきんシニア倶楽部と共催セミナーを開催

最後は抽選会を行い、続いて中越地域退職者連合の西片会長の閉会の挨拶でセミナーを終了しました。なお、抽選会の景品は「手ぬぐい」でした。(中越地域退職者連合 高峰事務局長)

漫才は夫婦漫才「つまようじ」で演題は、「円満のコツ」「家族AI」の2題でした。「つまようじ」は長岡市在住のご夫婦で新潟の古町芸芸場で優勝したり、M1グラプリでも予選を通過したという経歴の持ち主で、息の合った軽妙な話術で笑いを誘い聞き方も約1時間の公演でありましたが、楽しい時間を過ごすごうが出来ました。

役員研修は、「資産運用と労働運動」「医療・社会保障制度の市政要請」の2題で、最初に西片会長の挨拶を受け、新潟県労働金庫長岡支店の渋谷次長から約40分余り、労金のシニア向け商品や各種サービスの説明を受けました。最後に2024年から始まる「新しいNISA制度について」の説明を受けました。今回は、年金が微増し、年金が留まること、無価値な物の上昇の中で、年金暮らしの高齢者が手裏の資産でどう生活しようかと企画したもので、説明終了後の質問で

「真田小僧」は、最初に特許詐欺関連のDVDで「点検商法」の手法を学習しました。その中で県外ナンバーの車のセールスマンに注意が必要と言ふことを教わりました。その後、落語・漫才の公演が入りました。落語は「三遊亭まさじ」の「真田小僧」「牛

10月10日(火)14時より、連合中越地協事務所会議室に於いて役員研修と役員会を開催しました。

役員研修は、「資産運用と労働運動」「医療・社会保障制度の市政要請」の2題で、最初に西片会長の挨拶を受け、新潟県労働金庫長岡支店の渋谷次長から約40分余り、労金のシニア向け商品や各種サービスの説明を受けました。最後に2024年から始まる「新しいNISA制度について」の説明を受けました。今回は、年金が微増し、年金が留まること、無価値な物の上昇の中で、年金暮らしの高齢者が手裏の資産でどう生活しようかと企画したもので、説明終了後の質問で

連合中越S J ネット委員会 第18回定期総会

日時	12月6日(水)18:30~
場所	アトリウム長岡
議題	23年度活動報告 24・25年度役員体制(案) 24年度重点課題(案) 他

役員研修と第2回役員会を開催

10月10日(火)14時より、連合中越地協事務所会議室に於いて役員研修と役員会を開催しました。

役員研修は、「資産運用と労働運動」「医療・社会保障制度の市政要請」の2題で、最初に西片会長の挨拶を受け、新潟県労働金庫長岡支店の渋谷次長から約40分余り、労金のシニア向け商品や各種サービスの説明を受けました。最後に2024年から始まる「新しいNISA制度について」の説明を受けました。今回は、年金が微増し、年金が留まること、無価値な物の上昇の中で、年金暮らしの高齢者が手裏の資産でどう生活しようかと企画したもので、説明終了後の質問で

連合北魚沼支部だより

10月1日に、山本支部長と登坂事務局長で魚沼市内を最低賃金改定周知の街宣を行いました。町中を歩く人が年々少なくなっている感じがしますが、少しでも街宣グッズを手渡そうと、今回は小出駅に立ち寄り、電車を利用する方々に手渡すことができました。只見線は豪雨被害からの全線復旧を果たし、県外からの観光客の増加が期待されます。最賃改定のパネルを立てかけて、連合の活動が見えるよう工夫してみました。



役員研修と第2回役員会を開催

10月10日(火)14時より、連合中越地協事務所会議室に於いて役員研修と役員会を開催しました。

役員研修は、「資産運用と労働運動」「医療・社会保障制度の市政要請」の2題で、最初に西片会長の挨拶を受け、新潟県労働金庫長岡支店の渋谷次長から約40分余り、労金のシニア向け商品や各種サービスの説明を受けました。最後に2024年から始まる「新しいNISA制度について」の説明を受けました。今回は、年金が微増し、年金が留まること、無価値な物の上昇の中で、年金暮らしの高齢者が手裏の資産でどう生活しようかと企画したもので、説明終了後の質問で

連続講座のお知らせと報告

ディーセントワークと社会的連帯経済

中央労福協 オンライン連続講座を開設

中央労福協では「『つながる経済』で社会を変える！」をテーマに全12回の連続講座を9月からオンラインで開催しています。第2回の講座が「ディーセントワーク、SDGsと社会的連帯経済」をテーマに10月3日に開催され、現在見逃し配信もされています。

この第2回の講座では、第1部で国際労働機関(ILO)駐日代表の高橋信一氏から、ILOが推進するディーセントワークと社会的連帯経済がなぜ重要なのか。日本の労働組合が果たすべき役割について、報告がありました。第2部では「折り返し点を迎えたSDGsの到達点と課題」として題して、稲葉雅紀氏から講演がありました。質疑応答では「SDGsは大衆のアヘン」という批判に対して、現状は大衆ではなく、「企業、行政のアヘンとなっている」と答え、「現代の経済・社会システムには根本的な欠陥がある。競争原理や利潤追求とは別の原理による経済・社会の編成の在り方を考え、作り出す必要がある。協同組合、労働組合はそのヒント。私たち自身が、つながり、道を開く努力をすることが必要」と述べられました。公式ホームページで申し込むと見逃し配信も見ることができます。貴重な機会です。ぜひご参加ください。

いきいきとした暮らし、よりよい働き方、市場経済だけでは解決が難しい社会課題をどのように解きほぐすか?

SSE: Social and Solidarity Economy

ゼロから学ぶ、つながりの重要性・社会課題解決のヒント
~Chat機能OKの全12回無料オンライン講座を開講!~

「つながる経済」で社会を変える!
~ディーセントワークと社会的連帯経済~

開催方式 オンライン開催(ZOOMウェビナー使用)
参加申込 参加申し込みフォームよりご登録ください。登録アドレスに視聴URLを送信します。
参加費 無料
当日の視聴者が定員上限を超えた場合は、大変恐縮ですが見逃し配信をご視聴ください。

どなたでも参加可能です

詳細の研修、参加申し込みの問い合わせ先は、お問い合わせください。

見逃し配信につきましては、事前に申し込みいただいた方に限って配信いたします。講師終了後に配信し始める配信をご希望の場合は、お問い合わせフォームよりその旨、お申し込みください。なお、登壇者のご都合により配信開始が遅れる場合がございます。

(主催) 労働者福祉中央協議会(中央労福協)
(後援) 国際労働機関(ILO)駐日事務所 / ILO活動推進日本協議会(日本ILO協議会) / 日本協同組合連合機構(JCA) / 日本労働組合総連合会(連合) / 全国労働組合連合会(労金協会) / 全国労働者共済生活協同組合連合会(こくみん共済coop) / 日本生活協同組合連合会(日本生活連) / 日本労働者協同組合連合会(ワーカーズユニオン) / 全国農林漁業団体職員労働組合連合会(全国農団労) / 全国労働者労働組合連合会(全労基) / 全国労働者労働組合連合会(労連労働) / 連合総合生活開発研究所(連合研) / 国際労働財団(IILAF) / 教育文化協会(ILEC) / 連帯社会研究交流センター(ReCSS) / 全国勤労者福祉・共済協同連合会(全労済協会)

社会的連帯経済; SSEとは

社会的連帯経済は「つながる経済」とも言われています。利益優先ではなく、人々のつながりや支え合い社会や環境との調和を大切にする経済活動を指し、公正で人間的な経済をめざすオルタナティブな運動です。その担い手やパートナーには、協同組合、労働組合、NPO、市民団体、社会的企業などが含まれます。

今後の連続講座の予定

第3回講座 2023年11月14日(火)
「フリーランスやギグワークへの法的規制の現状と課題」

第4回講座 2023年12月7日(木)
「『曖昧な雇用』で働く人たちの包摂する新たな労働運動」

第5回講座 2024年1月23日(火)
「プラットフォーム協同組合の可能性と課題」

詳しくはホームページで
<https://www.rofuku.net/sse-seminar/>

